

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で話し合い、入居者の皆様が安心ある環境のもと地域で豊かな暮らしが送れることを目標にした理念を作である。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティング等で随時理念を確認し、その実践に取り組んでいる。また計画作成においても活用している。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関ホールの見やすい場所に掲示している。また、ご家族や地域の方々が出席する運営推進会議等で説明する等理解に努めている。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	そのよう努めている。散歩等で行き会う方々、近隣の公園で会う皆さんも気軽に声をかけてくれる。また、何かと差し入れてくれるお隣さんや毎週、花をもって来てくれるお向かいさんとは、家族同様のお付き合いをせてもらっている。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事等に積極的に参加させてもらっている。また、毎月、地区公民館で催される「ふれあい・いきいきサロン」にも参加させていただき、他の住民の方々との親交を図っている。なお、隣接する保育園とも交流させてもらっている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在、行っていないが、必要なことあれば率先し取り組みたい。	○	地域福祉の向上等図るべく努めて行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が実施意義を理解している。評価を活用し、改善等必要な事は、話し合いサービスの質の向上に努めて行きたい。	○	左記に同じ
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期に開催し、運営状況、入居者方々の様子や状態、支援内容等を報告している。また、出席者皆さんからご意見、ご要望をいただき、サービスの向上に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員の方を受け入れ、交流等している。	○	今後、随時そのような機会を設け、質の向上に取り組んで行きたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市社会福祉協議会が行う日常生活自立支援事業を利用している入居者の方がおり、制度等について理解している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員の共通認識として、日々、言動に注意し虐待防止に努めている。また職員相互の注意し合う関係をもって、起きた場合も看過しないようしている。	○	今後、外部研修等へも参加し、更に理解を深めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>懇切丁寧を旨に十分に説明している。内容を一緒に確認し、疑問等あれば納得してもらえるまで説明している。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居の際、苦情相談窓口が設けられていること、また、行政は基より、外部に苦情等受付機関があること等を説明している。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月1回、送付する便りにて近況や状態等を報告している。また、状態等に変化ある場合はその都度、電話連絡している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情対応等の受付方法を施設内に掲示している。また、定期に開催する運営推進会議にご家族も出席してもらい意見を求めている。また、ご家族が面会等で来所の際にも要望等を伺い、業務改善等に反映している。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日のミーティングにおいて、また適宜意見を聞く等し、運営改善等を図っている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>外出や行事への参加等の状況にあわせ、必要な職員数を確保している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむを得ない理由から、離職者がある場合も入居者の方々に混乱等ないよう配慮している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今後、人材育成にもより一層努め、研修等も計画的に実施したい。</p>	<p>○</p> <p>計画的に外部研修への参加、内部研修等の機会を設け、スキルアップを図っていきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今後、積極的に取り組んでいきたい。</p>	<p>○</p> <p>地域密着型サービス連絡協議会が主催する研修会、相互訪問等を行い、サービスの質の向上を図りたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>そのよう取り組んでいる。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>そのよう努めている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族とともに施設見学に来てもらい、ご本人が安心して利用できるよう雰囲気作り等しお迎えし、親身に話しを聞く等、信頼関係が早期に構築できるよう努めている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人同様、ご家族からも重々話しを聞き、不安の解消等に努めるとともに良好な信頼関係が構築できるよう対応している。入居後も継続して会話する機会を持つ等心がけている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一様に入所を勧めるだけでなく、他のサービスや社会資源の利用等が必要と思われる場合は、他の支援機関に繋いで行くこと等対応している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族から事前に情報を得て、ご本人が早期に施設に馴染め、混乱等も最小限に抑えられるよう配慮している。また、体験利用の期間も設けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共同作業を基本に入居者の各々の心身の状態にあわせ、それぞれ可能な家事等を楽しく行っている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の状況を踏まえた上で、いろいろ相談させてもらっている。定期的医療機関への受診等も可能な範囲で協力してもらっている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族が気兼ねなく面会に来られるよう心がけ、面会を共に喜び、近況や楽しい話題を提供する等、会話が弾むよう配慮している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人やお知り合い等、ご家族以外の面会者についてもくつろいで過ごしてもらえるよう心がけている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	良好な関係が構築でき、持続できるよう、日々の共同作業や全員で行うレクリエーション等を通し、気心が知れ、連帯感やお互いを気遣う等支えあいの気持ちをもって生活できるよう支援している。なお、テーブルの席順等も関係性を配慮し決めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	その旨心がけている。医療機関へ入院し退所した方については、随時面会に行き様子等を聞いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活がその人らしく送れるよう努めている。意思表示や疎通が困難な場合でも本人本位に考えて支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談等の際、ご家族や担当ケアマネ等より、情報を頂いている。また、日々の会話の中で話題として聴取する等把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の行動観察や見守り等によって、現状把握している。また、夜間の様子や行動等についても十分に見守りしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントをもとに、ご本人、ご家族、職員と話し合いながら作成している。主治医や看護師の指示や意見等もおり込んでいる。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化、援助内容等の見直し、追加等の必要があれば、その都度、変更、新たに作成する。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や個別介護記録に記入し、支援内容等に変化が生じた場合も職員皆で情報を共有し支援している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	実家が心配との入居者の方の訴えに車で同行したり、遠方に住むご家族の要請に主治医への受診等の介助も行っている。また、医療連携体制を敷き、訪問看護による健康管理もすすめている。なお、福祉用具業者とも頻繁に打ち合わせ、必要な用具類の活用を適時検討している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	管轄消防署に防火訓練等の際、立ち会ってもらい指導等してもらっている。	○	今後、ボランティア等の受け入れも積極的に図っていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	意向や必要に応じ、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、各施設等とも連絡調整する。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	既に市社会福祉協議会で行う日常生活自立支援事業にて金銭管理等行ってもらっている方がいる。	○	必要あれば地域包括支援センターとも協働し、本人や家族の意向等をかなえるべく努力したい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医についてはご本人、ご家族の希望を尊重している。入居前からのかかりつけ医への受診を継続したり、往診してもらう方もいる。適宜に状態の報告等行い、緊急時や体調等に変化等あった場合は、直ちに施設で受診対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	介護職としての基本とし、自尊心やプライバシーの保護に職員それぞれが留意し、慎重に対応している。また、各種記録簿等についても事務所内や特定の場所に保管する等注意している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ゆったりとした雰囲気の中、ご本人が気兼ねなく思いを話せるよう気遣いし、意思表示が困難な方についても、様子や合図でその意思をくみ取っている。また、理解力等を鑑み、短い言葉で話したり、誘導も端的に行う等の工夫もしている。ご本人が自ら決定、選択できるよう、見守りや助言等行なっている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の方々、各々のペースを大切にしている。起床や就寝時間等も希望や意向、習慣に応じ臨機に対応している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎朝、起床時に、また入浴の際は可能な限り、本人に着替える衣服等を選択してもらっている。整容、清潔等の援助も徹底している。なお、理美容については、従来からの行き付けの美容室に引き続き家族と行かれる方もいるが、近隣に床屋、美容室があり、職員が適宜に付き添って利用している。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	新鮮な旬の食材を心がけ、把握している入居者各々の好き嫌いやリクエストも盛り込み献立を工夫している。皮むき等の下拵えや簡単な炒め物等してもらっている。また、お茶いれ、配膳・下膳、食器洗い等もそれぞれ自発的にしてくれる。なお、毎食、職員も一緒にテーブルで楽しい雰囲気のもと食事している。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	牛乳を毎日複数回飲まれる方、甘いものが特に好きな方等、可能なかぎり、個々の嗜好にあわせて提供している。誕生会ではお酒やビールを出したりもしている。喫煙される方は、場所や時間、本数を決め吸ってもらっている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者の方、一人ひとりの排泄パターンを昼夜で把握し、適切に誘導、介助等を行い、失禁等の遞減に努力している。また、トイレへ誘う際の声かけ等も自尊心を傷つけないよう十分配慮している。	○	おむつに頼らない排泄が可能となるよう努めて行きたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週6日間の入浴日を設けており、曜日で入浴される方を決めていますが、希望や体調等で順番や曜日を臨機に変更する等柔軟に対応している。温泉のもと、保湿入浴剤や時季でゆず湯にする等工夫している。	○	夜間、就寝前に入浴を希望する方がいる。実現に向け検討したい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	習慣や体力面にも配慮し、適宜休息や午睡の時間を設けている。また、ご家族に依頼し、時季にあった寝具類等を準備してもらい、良好な環境で休んでもらえるよう室温の調整を小まめに行う等している。		
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の方々、それぞれに得意なことを把握し、心身の状態を踏まえてうえで、お茶をいれる、掃除する、洗濯物をたたむ等々各々に手伝ってもらっている。自身の役割ができ、日々の生活において目的意識や活動意欲が向上するよう支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	通常、金銭は所持していないが、買い物等に同行した際、財布を渡し、支払い、釣り銭をもらう等してもらっている。なお、所持していないと不安な方については、ご家族も了承のうえ小額の金銭を預けている。	○	今後、定期的に移動販売を利用し、お金を預け、実際に好きなものを自ら選んでもらい、代金を支払う等買い物する機会を設けるべく検討中。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の方々の希望に応じて、散歩やドライブ、買い物等に出掛けられるよう支援している。	○	今後、より多く個別の希望を行える機会を設けて行きたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	実家に行くことや墓参りに付き添ったり、ドライブ、外食等を実施している。また、家族と外出する機会をつくる等支援もしている。	○	同上

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の方が希望する際は、自由に電話を使用してもらっている。また、暑中見舞いや年賀状や時季の手紙を出す等支援しており、たいへんな方については、代筆等している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪の方々々がゆっくり滞在できる環境を作り、茶菓を出す等くつろいで面会できるように配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	原則、身体拘束等しない方針であり、言葉による行動抑制等についても注意している。しかし、心身の状態をもって緊急止むを得ず車いすを使用する方について、転倒事故等を防止する観点から家族、主治医、関係者で協議のうえ時間帯等を限定し車いすからのずり落ち防止ベルトを使用してもらっている。対象の方のご家族と身体拘束に係わる説明書・	○	如何なる理由があっても、身体拘束しない介護の実践に取り組みたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	弊害を理解しており、鍵をかけないよう努めているが、2階建ての施設の構造であり、日中は、職員も含めて2階で過ごすことが多いため、1階の開錠にともない不審者等の侵入の危険等を鑑み、玄関等施錠している。なお、事務所等1階に職員が常駐する場合は開錠している。	○	日中については、可能な限り開錠できるよう、職員配置等を検討して行きたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員全員が配慮しながら昼夜を通し、事故等なく安全に過ごせるよう見守り、状態を注意深く見るとともに所在確認し記録している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の方々、各々の判断力や理解力等の状態に個別に対応しており、物品の保管、管理に十分注意しており、事務所等で預かって、使用の度毎に用意したりもしている。異食行為等ある方については、細心の注意を払い事故防止等を図っている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員全員が安全に対する認識を深め、入居者の方それぞれの心身の状態把握に努め、心身機能に即した個別ケアの実践にて、事故防止を図るべく施設をあげて取り組んでいる。	○	事故ゼロを目標に取り組んで行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	持病等の悪化や身体機能等から予測される急変や事故等について、日常から話し合い、その対応を確認している。また、主治医や訪問看護師等から対処方法等の指導を受けている。	○	管轄消防署へ救命士等の派遣を要請し指導を仰ぐ機会等を定期に設けていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	管轄消防署員等の立ち会い、指導のもと定期的に防災訓練を実施している。また、緊急連絡網、通報マニュアル等を作成している。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	心身の状態から懸念される問題や状況等について、リスクも含め、ご家族に随時説明している。また、心身ともに抑圧感のない、心安らぐ生活を送れる良策や対応を随時職員で協議している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルや食事量、排泄状況を測定、観察、記録し職員間で情報共有している。変調等ある場合は、重点的に様子観察を行い、悪化すること等あれば、直ちに医療機関に受診する等対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が処方内容、服用・使用方法、作用、効能、副作用等を理解している。頓服や臨時に追加される薬等についても同様に共通認識をもって扱っている。また、服薬等で変化ある場合は、直ちに主治医にその旨連絡、指示を仰いでいる。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事面や水分量等にも注意のうえ、運動等を通し自然な排便があるよう便秘予防に取り組んでいる。また、排便の有無、状況等を記録するとともに、自然排便が困難な方については、医師の指示のもと、下剤の使用を慎重に行っている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実施、あわせて口腔内、残菌や入歯の状態等を観察している。自力で困難な方については介助している。入歯の保管、消毒も行なっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の方、それぞれの咀嚼や嚥下の状態、体調や習慣にあわせ主食、副食ともに手を加え、バランス良く、適切かつ適量の食事及び水分を提供している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防対策があり、入居者の方々、職員はもとより、ご家族や来訪者にも理解してもらい、来所の際は手洗い、消毒、うがい、必要によってマスクを着用してもらう等を徹底してもらっている。なお、インフルエンザについては新型、季節性ともに全員の入居者の方が予防接種されている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、食器等は毎回乾燥機にかけ、必要な消毒等についても徹底している。台所等の衛生に努め、食材等も2日分ずつ新鮮なものを購入している。調理担当者については、手洗い、消毒等をより徹底し業務にあたっている。なお、職員は定期的に感染症等の検査を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、季節の草花やさるすべりの木が植えてあり、また、毎日掃除等して来訪される方々が気持ちよく出入りいただけるよう配慮している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	バリアフリーのフローリングで和を基調に家庭的な雰囲気になっている。テーブルにはいつも花が飾っており、明るく静かな環境下で過ごしてもらっている。テレビや音楽の音量等も大き過ぎないように注意している。暖かい時は、2階のベランダで日向ぼっこして過ごすこともある。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや館内各所に椅子やベンチが置いてあり、思い思いに自由に過ごしてもらっている。また、畳の間で一緒に横になってくつろぐ方もいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具やベットの配置等、ご本人、ご家族の希望、習慣や価値観を尊重し自由にしてもらっている。馴染みの家具類や使い慣れた物品等も持参してもらい心地良い自分の部屋との認識が持てるよう配慮、少しでも環境変化による負担を軽減すべく工夫している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	館内各所、居室内に設置してある空気清浄機や換気扇を活用し換気する等気持ちよく過ごしてもらえるよう工夫している。また、朝方の掃除の際は、窓を開け空気の入替えをしている。なお、エアコンや床暖房を使用し適切に温度管理している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入口はスロープとなっており、玄関上がり框以外は基本的にバリアフリーのフローリングになっている。また、1、2階の行き来について、エレベーターが設置してあるため、安全かつ円滑な移動が可能で自立を妨げない作りとなっている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自立支援を旨に入居者の方々それぞれの個性や性格、理解や判断力を踏まえ、適切な関わり方をしている。できることは可能な限りしてもらおう等、心身機能を維持し、可能な限り自立した生活が送れるよう、手だすけさせてもらっている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	時季で咲く花壇や建物周囲の花、草木を皆で愛でたり、暖かい日は2階のベランダで日向ぼっこしたりとゆったり過ごしている。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域福祉を推進する公共の団体として、安全安心のもと、入居者の皆様が楽しみや目的をもって、可能なかぎり自立した生活が日々送れるよう、適切な施設運営を図り、良質なサービスを提供致します。また、地域の住民の皆様との親睦、交流も活発に行う等、地域に根ざした施設作りにも努めてまいります。